



移住者名	小室 勇樹
都道府県	島根県 中ノ島（海士町）
移住先	東京都⇒島根県
移住年	2017年
職業	福祉⇒福祉
家族構成	単身
移住形態	Jターン

Q. 移住したきっかけは？

私の出身はJターンした中ノ島の隣の島で島後（隠岐の島町）です。子供のころから中ノ島へ来島することもあり、身近な存在ではありましたが、移住するきっかけになったのは、現在仕事をしている福祉事業所で製造しているお茶（ふくぎ茶）を東京で販売のお手伝いをすることがあり、その時に当時の担当者からJターンを薦められました。まちづくりに積極的な海士町を知っていたこともあり、そのような特産品の製造や販売等のまさにまちづくりの現場で働けることを理想として中ノ島に移住しました。

今では、一緒に働いている方々にも、良くしていただき、働きやすい環境で過ごしています。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

Jターンする前から、現在関わっている特産品の販売のお手伝いをしていたこともあり、移住先に知り合いも多かったことからそこまでの不安感はありませんでした。島の雰囲気も私自身が隠岐の島町の出身でもありますので、変な思い込みや気負いも少なかったように思います。不安ということではないですが、Jターンが多い中ノ島（海士町）ですので、Jターンの大勢方がテンションを張って取り組みをされている海士町で、Uターンでもなく、Jターンでもない、Jターンの自分がどのようなテンションでその場においてよいのかと考えたことはありました。

今はどちらの気持ちも分かる部分もあるので、いろいろな話が聞きやすく得な部分かなと考えが変わりました。

Q. 移住して良かったことは？

良く言われる事ですが、時間がゆったり流れる場にいれることは、大きな喜びです。私は東京やその他の地方都市でサラリーマンをしていたのですが、時間の流れが違うのは顕著に感じるどころです。都会では帰宅してから就寝まで、自由にできる時間は2時間～3時間くらいだったでしょうか。今では夕方の6時には自宅で夕飯を作っていますので、余裕をもって生活できている実感があります。休みの日もスポーツのサークルに参加したり、色々な習い事のようなことが様々あるので、何かに参加したいなと思えば、気軽に始める事が出来ます。そのようなところも良かったなと思える部分です。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

どのような島に移住されるか、その島の人口規模や内海の島なのか外海の島なのかで雰囲気はまるで違うと思います。とりあえず週末に旅行に行ったり、短期で住んだり、働いたりできる制度も最近は充実してきたという風に聞いております。このアイランダーで気になった島を数か所、ピックアップして実際に移住するつもりになって行ってみるということをおすすめします。行ってみることで本土からの距離、定期船の往来にかかる時間、商店の規模、公営施設や住宅の雰囲気等、パンフレットやHPではわからない部分を感じることができ、移住を現実的に考える事ができると思います。そのような旅をする際におすすめの時期や制度などを、このアイランダーで各ブースの担当者に質問されてみると面白いかもしれません。